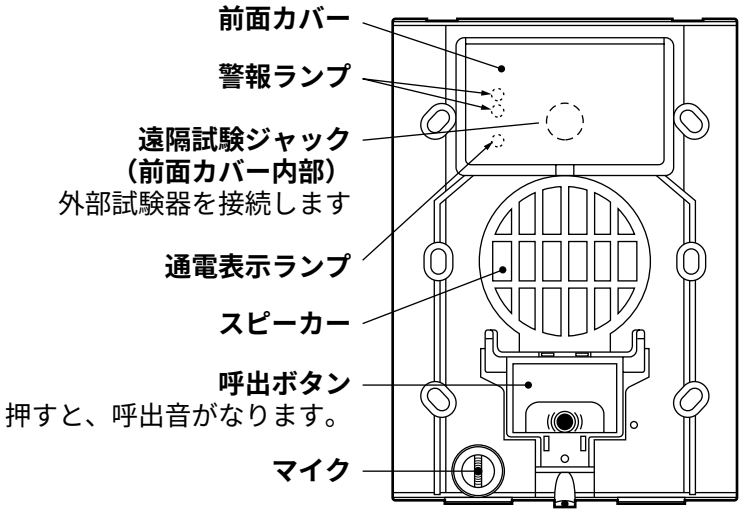
HOCHIKI

戸外表示付玄関子機（遠隔試験機能付中継器一体型）（SVシステム専用）　工事説明書

品番　HOVG-D521HHA

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この工事説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

各部の名前と働き



お知らせ

●本製品は、220号特例基準対応の、共同住宅用中継器一体型玄関子機です。それ以外での用途ではご使用になれません。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

分解・改造しない

分解禁止

感電の原因となります。

●内部の点検や修理などは販売店へご依頼ください。

耐雨構造ですが、本体にホースなどで直接水をかけない

禁　止

ショートして感電の原因となります。

チャイム線など既設の配線を利用する場合は、AC100Vが通電されていないことを確認する

そのまま使用すると、感電や破損の原因となります。

●販売店へご相談ください。

雷のときは工事配線しない

禁　止

雷によっては火災や感電の原因となります。

土中埋設配線する場合は、保護管を使用する

絶縁劣化により、感電や故障の原因となります。

土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない

禁　止

絶縁劣化により、感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願いとお知らせ

●停電時には、使用できません。
●日本国外で設置し、使用することはできません。
●機器に強い衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因となります。
●硫化水素の発生する場所で使用しないでください。故障や機器の寿命が短くなる原因となります。

＜絶縁試験について＞

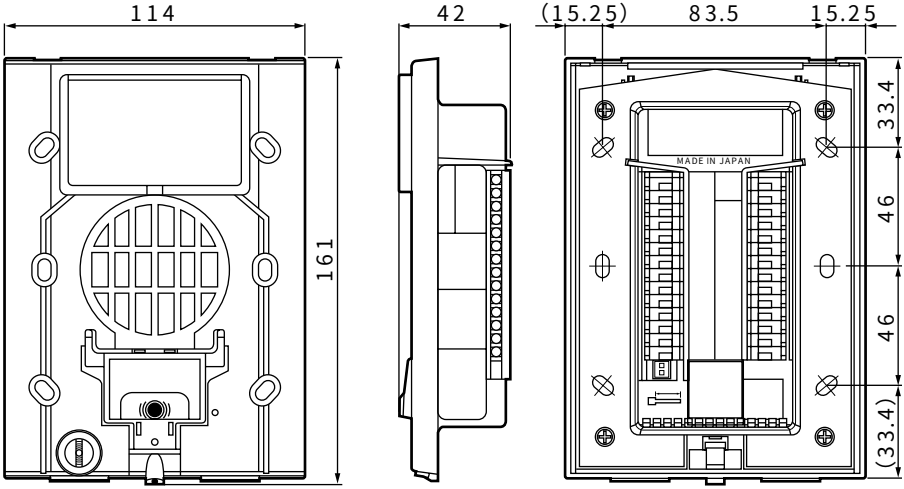
●線間の絶縁試験は行わないでください。機器破損の原因となります。
●試験時は中継器の外線端子から外線を全て切り離して行ってください。
外線が接続されていると中継器が破損する恐れがあります。

＜機能について＞

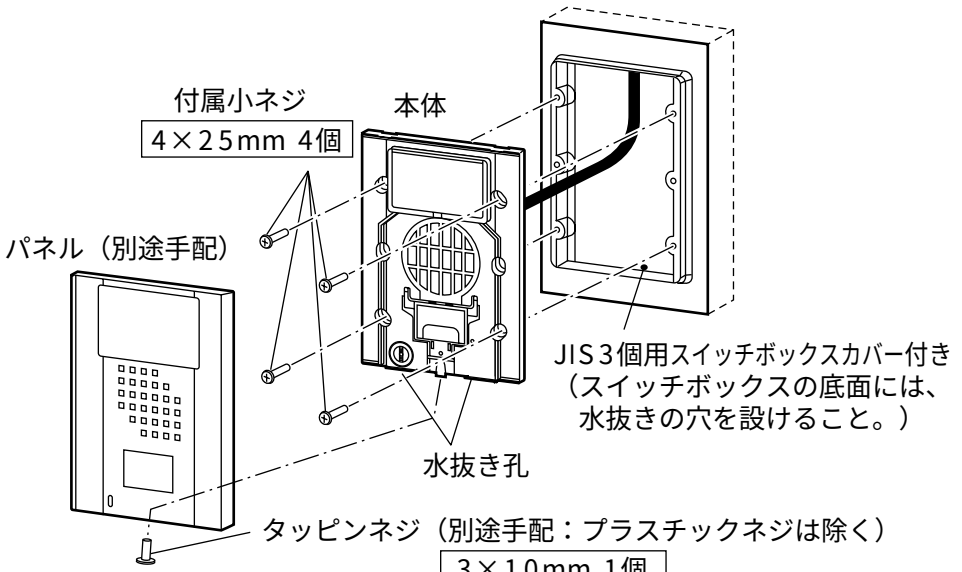
●中継器に電源投入後、30秒間は立ち上げ処理を行うため、火災監視を行いません。
●感知器が作動、復旧して6分以内にGP型3級受信機が停電すると火災確定していなくても住棟受信機に火災信号が送信されます。

工事説明

外観図



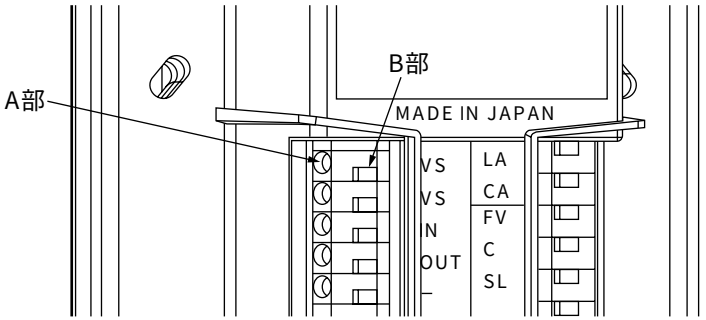
取り付けかた



お願い
- ●垂直な壁（面）に設置してください。
- ●本体底面の水抜き孔をふさがないでください。
- ●前面パネルは、仕様に合わせて別途手配してください。

＜付属品＞ ●小ねじ…4（4mm×25mm）●工事説明書（本書）…1 ●終端器…1

接続速結端子の結線方法



線材を挿入する場合

・線材を約9mm被フクをむく
・線材を確実にA部に挿入する

線材を抜く場合

・ドライバーの先等でB部を押し込みながら線材を引き抜く

各端子の機能と断線時の障害内容

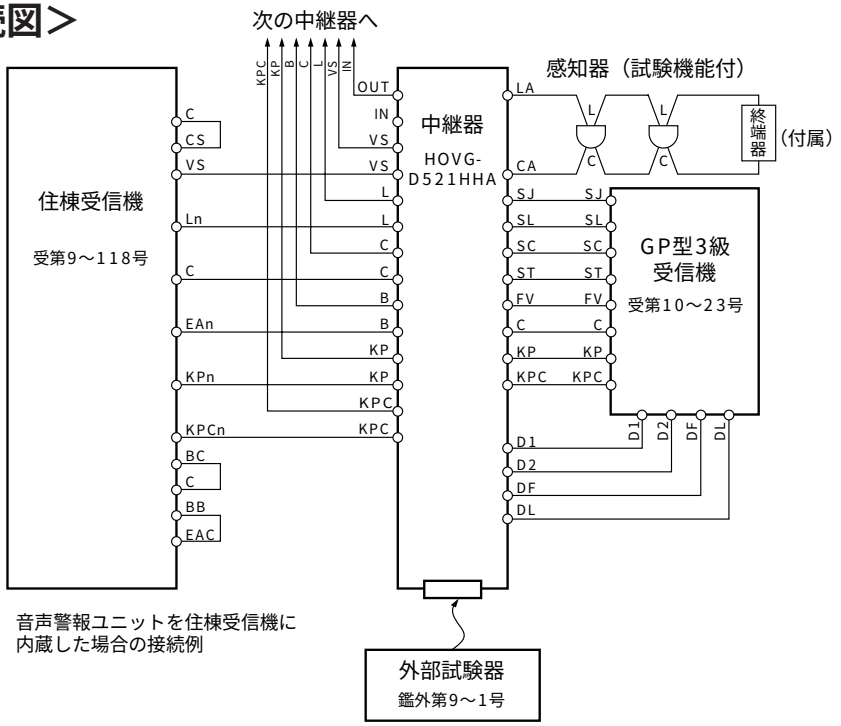
端子名	機能	断線時の障害警報内容	断線時に予想される不具合内容
VS, C	中継器制御線	住棟障害警報	中継器が感知器作動を受信しない。
L, C	住棟受信機感知器線	住棟障害警報	住棟受信機が火災を受信しない。
B, C	近隣警報制御線	遠隔試験異常	GP型3級にて近隣火災警報が鳴動しない。
KP, KPC	音声信号線	遠隔試験異常	GP型3級停電時に火災警報及び近隣火災警報が鳴動しない。
IN, OUT	終端用送り線	住棟障害警報	住棟感知器線断線を検知できない。
LA, CA	感知器線	GP型3級障害警報 住棟障害警報	中継器が感知器作動を受信しない。
SL, SC	GP型3級感知器線	GP型3級障害警報	GP型3級が火災を受信しない。 GP型3級にて近隣火災警報が鳴動しない。
SJ, SC	火災確定線	遠隔試験異常	GP型3級で火災確定前に住棟が火災になる。 GP型3級にて近隣火災警報が鳴動しない。
ST, SC	遠隔試験中線	遠隔試験異常	遠隔試験を行うとGP型3級が感知器作動警報を行う。
FV, C	GP型3級制御線	遠隔試験異常	GP型3級にて近隣火災警報が鳴動しない。 GP型3級停電時に火災警報が鳴動しない。

＜注意事項＞

●感知器線（LA, CA）以外は耐熱電線を使用してください。
（LA, CAはAE線でも配線できます。）

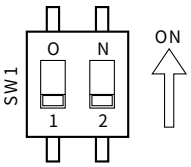
接続の方法　接続図の例に従い各機器を接続します

＜接続図＞



＜注意事項＞

- 中継器のOUT端子は次住戸の中継器のIN端子と接続します。（回線始端の中継器のIN端子及び回線終端の中継器のOUT端子は空きになります。）
- ディップスイッチを正しく設定してください。設定が正しくされていないと断線監視が正常に行われなくなります。
  回線始端に使用の場合　　：1をON
  回線終端に使用の場合　　：2をON
  始端終端いずれでもない場合：1,2ともOFF
  注1）工場出荷時は2つともOFFに設定されています。
  注2）回線に接続される中継器が1台の場合は2つともONに設定します。



- 住戸終端の感知器のL-C間に付属の終端器を接続してください。
  終端器が正しく接続されていないと受信機の火災監視、断線監視、遠隔試験が正常に行われなくなりますので付け間違いのないよう注意してください。
- 住棟受信機感知器線の終端抵抗は中継器に内蔵されています。共用部の感知器または発信機を住戸と同一回線に設置する場合は、必ず住戸を回線の終端とし、中継器のディップスイッチにて終端設定を行ってください。
- 感知器取付工事後は、加熱または加煙試験を行い、感知器や表示灯の作動を確認してください。

遠隔試験

＜試験手順＞

① 住棟受信機を試験復旧に設定します。
（試験復旧に熱モード、煙モードがある場合は、どちらに設定しても問題ありません。）
② 音声警報ユニットの保守スイッチをONに設定します。
③ 本器の前面カバーを開け、ジャックカバーをはずします。
④ 外部試験器と遠隔試験ジャックを接続します。
⑤ 外部試験器の電源スイッチをONにします。
（電源表示灯と通常モードを示す動作表示灯が点灯することを確認してください。）
⑥ 外部試験器の試験開始／終了スイッチを押します。
外部試験器の表示窓が点滅し、感知器の遠隔試験を開始します。
（試験開始と同時に戸外表示器の表示灯が点滅します。）
試験正常の場合：外部試験器の試験結果表示灯が緑点灯し、表示窓に感知器接続個数が表示されます。このとき、戸外表示器から火災メッセージが流れます。
試験異常の場合：外部試験器の試験結果表示灯が赤点灯し、表示窓に異常のあった感知器番号とエラーコードが表示されます。
⑦ 外部試験器の試験開始／終了スイッチを押すと試験終了します。
⑧ 感知器接続個数を、本器の感知器接続個数ラベルに記入します。
⑨ ジャックカバーおよび前面カバーを元の状態に戻します。
⑩ 遠隔試験を終了し、住棟受信機および音声警報ユニットの設定を元に戻します。

＜注意事項＞

- 遠隔試験の詳細については外部試験器の取扱説明書を参照してください。
- ジャックカバーは試験終了後、必ずもとの場所にはめてください。（ゴミやホコリの侵入防止のため。）
- 住棟受信機、音声警報ユニットの設定は、住棟受信機、音声警報ユニットの取扱説明書、工事説明書を参照して、正しく設定してください。
設定が正しくされていないと遠隔試験時に近隣火災警報が鳴動します。
- 遠隔試験終了時に住棟受信機、音声警報ユニットの設定を戻し忘れると火災監視が正常に行われなくなります。
- 住戸停電時には遠隔試験を行わないでください。
- 中継器の各配線が正しく結線されていない場合は、遠隔試験が正常に終了できません。

仕様

1. 玄関子機部

電源電圧	DC 6 V（親機より供給）4.5 mA（通話時）
通話インピーダンス	600 Ω
警報ランプ	DC12 V 30 mA（警報時）
線路抵抗	最大 20 Ω（ループ値）

2. 中継器部

種別	中継器（遠隔試験機能付）
型式	直流：24 V　外部配線抵抗：10 Ω
感知器接続台数	最大16個（試験機能付）
終端器	中継器1台につき1個を付属
接続対象受信機	住棟受信機：受第9～118号
	GP型3級受信機：受第10～23号
接続対象感知器	感第9～33号
接続対象外部試験器	鑑外第9～1号

＊ 上記以外の受信機、感知器、外部試験器に接続する場合は必ず当社にお問い合わせください。
（上記表記は代表型式のみ）

3. その他

型名	HOVG-D521HHA
外形寸法	高さ161 mm　幅 114 mm　奥行き 42 mm
質量	220 g
外観材質	プラスチック（難燃ABS樹脂）

AA0601-0
C8QA5820AN

（販売元）ホーチキ株式会社

〒141-8660　東京都品川区上大崎2丁目10番43号　✆ (03) 3444- 4111(大代表)

（製造元）松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社　AVシステム事業部

〒224-8539　横浜市都筑区佐江戸町600番地　✆ (045) 932-1231(大代表)

© Matsushita Communication Industrial Co.,Ltd. **（松下通信工業株式会社）** 2001